千葉大学若手研究者キャリアアップ支援制度（2023年度）

本学独自の支援と外部機関プログラムを活用した支援により、シームレスに研究者を育成するとともに、卓越した研究者集団を形成

千葉大学の独自支援

・競争的資金獲得支援（科研費採択挑戦サポート）　・企業との共同研究・知財・スタートアップ等支援
・ＲＡ雇用支援　・論文掲載費用支援　・共用設備機器利用料の支援

若手研究者スタート支援プログラム
- JSPS特別研究員（DC1）応募者を対象
- 研究支援費として月額10万円を半年間支給（計60万円）

国際高等研究基幹（IAAR）全方位イノベーション創発センター　特任助教
- 任期３年

①国際高等研究基幹（IAAR）テニュアトラック教員
- 任期３～５年

②各部局テニュアトラック教員

国際高等研究基幹（IAAR）テニュア教員

国際高等研究基幹(IAAR)研究支援プログラム（25件）
①学際的先端研究支援プログラム（12件）
- トップリーダー型　2件
- 次世代展開型　10件

②社会的価値創造研究支援プログラム(13件)
- トップリーダー型　1件
- 次世代展開型　12件

若手を雇用

大学院 博士前期課程 → 大学院 博士後期課程 → ポスドク（特任研究員/特任助教等） → テニュアトラック研究者 → テニュア研究者 → 承継教員（教授・准教授） → 大型競争的資金等プロジェクト推進リーダー

博士学位取得　テニュア取得

外部機関プログラムを活用した支援

【JSPS】特別研究員（DC１，ＤＣ2）
- 2023年度採用内定者（本学）DC1：8名、DC2：10名
- 研究奨励金　20万円/月（240万円/年）
- 研究費　150万円以内/年

【JST】次世代研究者挑戦的プログラム
「千葉大学全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト」
- 150名
- 研究奨励費　17万円/月（204万円/年）
- 研究費　50～150万円/年

【JSPS】特別研究員（PD）
- 2023年度採用内定者（本学）　4名
- 研究奨励金36.2万円/月（434.4万円/年）
- 研究費　150万円以内/年

【JST】大学フェローシップ創設事業
- 1学年あたり　20名
- 研究専念支援金　17万円/月（204万円/年）
- 研究費　20万円/年
- 授業料免除

【JSPS】卓越研究員
- 40歳未満のテニュアトラック研究者
- 採択者　H30：2名（R3-R1は0名）
- 研究費（研究活動に係るスタートアップ）
  １～２年度目に限り卓越研究員一人当たり２年間で1,200万円を上限。人文学及び社会科学については、２年間で800万円を上限。
- 研究環境整備費
  １～５年度目は、200万円に各研究機関に在籍する卓越研究員の数を乗じた額を支援。

【JST】創発研究者
- 博士号取得後 15 年以下（医、歯又は獣医を履修する場合、法律に定める臨床研修を修了した者は、17年以下）
- 採択者（本学）
  2020年度　3名
  2021年度　3名
  2022年度　3名　合計　9名
- 研究費（上限額）
  直接経費を7 年間で総額 5,000 万円（上限）
  間接経費30％